

にほんご未来塾【西条市】

～ 子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 日本語を母語としない児童・生徒、及び日本人帰国子女に対する日本語指導を行い、地域や学校で円滑な日常生活が送れるよう支援を行う。
- 各教科の学習支援を行い、学校での学習理解の促進を図る。

活動場所	西条公民館	対象児童・生徒	未就学児・小学生・中学生・高校受験生・高校生	対象学校区名	西条市内小中学校 西条高校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	24	日	毎週水曜日	15 : 00 ~ 17 : 00
	土・日・休業日等	20	日	夏季休業中の月～金	9 : 00 ~ 12 : 00
活動内容	日本語の読み書き・学習内容の指導、宿題や予習・復習の支援、学習習慣の育成、学習相談等		参加者募集	関係小学校への周知、外国籍の保護者からの紹介など	

取組の概要

<主な取組内容>

- 基本的な生活習慣を身につける
始めと終わりのあいさつ、言葉遣い、学習のしかた、掃除などを通して基本的な生活態度が身につくように指導している。
- 言葉の獲得
言葉のフラッシュカード、絵カード、写真等を用いて身近な言葉から覚えさせている。またマンツーマンによる対話方式でゆっくりお話ができるようにしている。
- 音読の重視
ひらがな、カタカナ・漢字を声に出して読めるように毎回冒頭に音読練習を取り入れ、全員の前で発表させている。
- 個々の児童につく支援員を固定し(マンツーマン指導)、その子の心理状況を観察しながら意欲を喚起し、学習熟度に応じた指導を行っている。
- 心の支援
一人一人との会話を心掛けて日々の様子を把握し、困りごとや願い等の相談に乗っている。くつろいだ場となるよう温かな人間関係づくりに努めている。

児童・生徒の感想

- ・先生が優しく、わかりやすく教えてくれる。
- ・わからないことは何でも聞けるから安心できる。
- ・みんなが仲よくて、楽しい。



<特色ある取組>

- 一人一人の日本での生活期間が異なり、日本語能力、学力にも大きな違いがある。そのため、個々の児童につく支援員を固定し、その子の心理状態を見ながらの指導を心掛けている。その結果、両者の信頼関係も増し、良好な学習環境となっている。
- 学習方法や考え方が異なる海外からの帰国子女に対しては、その児童の学力を補いながら日本の学習形式に慣れるよう助言をしている。



(個々の学習指導)

事業を実施して

【成果】

- 毎回はじめに子ども達によるルール確認をすることで、きまりへの認識が深まった。
- 子どもたちは、宿題を終えるだけでなく、日々の授業で分からないことを教えてもらえるという安心感、期待感を持つようになった。
- 個々の児童について学校と定期的な連絡会を設け、円滑な情報交換と連携ができている。

【課題】

- 日本語のハンディによる様々な遅れを埋めるには、週1回の学習時間では足りない。
- 高学年児童にはさらに補充指導が必要である。
- 個に応じた指導方法、及び教材等の作成や開発が求められる。